

英検補助制度の 検討を求める

答 令和9年度に向け検討する



問 英検受験率は約88%と高水準である一方、本町には検定料補助制度がない。学習意欲の向上や保護者負担軽減の観点から、制度導入の必要性和具体的な時期・方向性について問う。

学校教育課長 英検補助は地域振興協会の財源活用を想定し、学校との調整や事務手続の整理を進める。令和9年度に向け制度導入を検討する。

問 小学生の約8割が異文化交流に意欲的である一方、中学校英語は県平均を下回り、特にスピーキングに課題がある。小学校で到達度が把握されていないことが、中学校

での学力差につながっている可能性について見解を問う。

統括指導主事 スピーキング力に課題があると認識している。ALT・JTEを配置しているが、タブレット活用は県に比べ低い状況であり、今後はICT活用を含め取り組みを推進する。

健康増進室の機能強化を

問 健康増進室では、器具の故障や撤去により台数が減少し、利用者が順番待ちを余儀なくされる可能性があるなど、利用環境の低下が懸念される。設備が不十分との不満



西銘 多紀子 議員

の声も多く聞かれ、町民ニーズに十分応えられていないか。健康寿命延伸の拠点としての機能強化も含め、現状認識と今後の改善について問う。



健康増進室の様子（ちむぐくる館）

副町長 器具は更新を進め現在21台を設置しており、課題は認識している。健康増進室は介護予防等の拠点として機能強化を図り、関係機関と連携しながら環境整備を進める。利用しやすさを重視し、現時点で有料化は行わない。

兼本ハイツ周辺歩道 安全確保を

問 兼本ハイツ集会所周辺の歩道は段差や急な勾配により高齢者や子育て世帯が通行しづらく、転倒も発生していた。今回の対応について工事内容、安全対策を問う。

都市整備課長 危険箇所を掘削し勾配を緩やかにした後、舗装を実施し、安全性の向上を図った。

一 こんな質問もしました
・畜産農家への支援について問う
・不登校児童生徒への情報支援の充実について問う